

6つの基本方針

① ラーニングセンターを学校の中心に配置します

図書室やパソコン教室を生徒が自主的に学習に取り組むための「ラーニングセンター」と位置づけ、学校の中心に配置します。交流の場、学習への意欲や希望を抱かせる場となることが期待されます。

② ともに学び、語らう生活の場を設けます

生徒と先生、生徒同士、先生同士が語り合い、学び合う豊かでゆとりある空間を創ります。

③ 学校に楽しみを創ります

特徴ある大階段、落ち着いた雰囲気の中庭など、生徒たちが自然と集まり、生活を楽しめる空間を創ります。

④ 生徒の快適を創ります

生徒たちのさまざまな場面での気持ちに合わせ、生徒が使いやすく居心地の良い居場所を創ります。

⑤ 新しい景観を創ります

周辺の景観を継承し、地域からも愛され、市のシンボルとなる新しい景観を創ります。

⑥ 安心感を与える施設へ

生徒と地域の人たちが、「学校に行けば安心」という仕組みや仕掛けを創ります。

学習と交流・自然に配慮

建設計画では、ラーニングセンターが学校の中心という役割を第一と考え、生徒が毎日通る昇降口からメイン階段という主動線部分にラーニングセンターを設けました。そうすることで、

変化に富む空間体験と生徒間の交流を生み出します。

1階は、交流ホール、サブアリーナ、大会議室、中庭を一体的に利用できる形態としました。

学ぶ意欲を高める環境づくりとして、学年や特別教室のまりを大切にした計画にします。教室前の廊下などがそれぞれ独立しており、他学年の動線と交差しない造りで落ち着いた環境となっています。特別教室、校務センター、特別支援学級なども同様に、まとまりを大切にすることにより廊下が学習空間の一部となっています。

また、自然採光や自然通風の積極的活用、外部トイレには雨水を利用するなど環境負荷を抑え、自然エネルギーを有効活用します。



改築工事のスケジュール予定 2019.4.30 現在

	2019 年度												2020 年度												2021 年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
仮設校舎																																				
解体																																				
調査																																				
校舎建築																																				
外構																																				
引っ越し																																				
供用開始																																				